

貸出金の状況

貸出金残高

3,993億円

貸出金は、中小企業向け融資や住宅ローンを中心とした個人向け融資が増加し、期末残高は前期比3.99%増加の3,993億円と5期連続で増加しました。

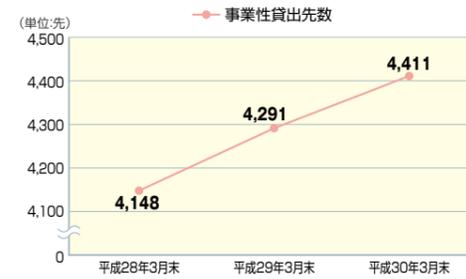
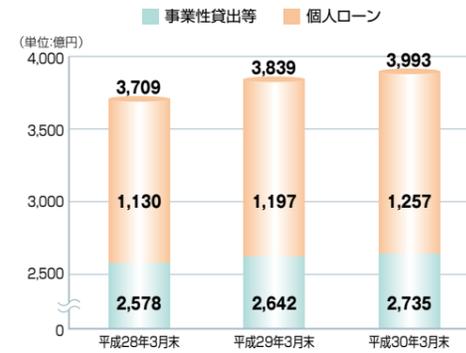
事業性貸出先数

4,411先

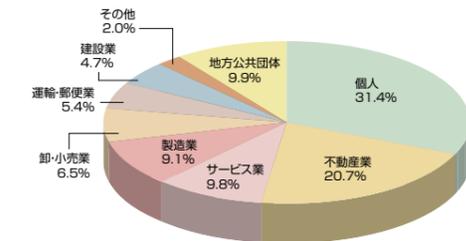
事業性の貸出先数は、ビジネス情報のご提供や補助金の申請支援、呉創業支援ネットワーク等を通じて創業支援へ取組むなど、経営上の課題解決に繋がる提案活動に取組んだ結果、年間120先増加の4,411先となりました。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の90.0%は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめとした地域のお客様に幅広くご利用いただいています。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。



預金積金の状況

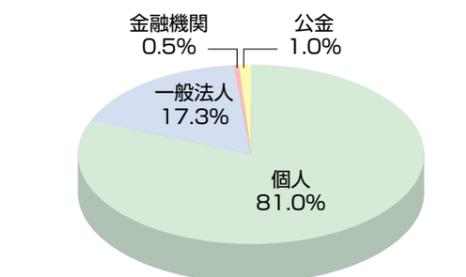
預金積金残高

7,046億円

預金積金は、給与・年金振込や口座振替の推進など、積極的な営業活動に取組むと共に、お客様の利便性向上のためインターネット支店の開設など、新たなチャネルの構築に努めてまいりました。期末残高は前期比3.02%増加の7,046億円となりました。

預金者別預金残高構成比

地域のお客様の信頼・信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は81.0%となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客様を中心とした預金業務を行っています。



損益の状況

実質業務純益

20億円

本業のもうけを示す実質業務純益は、有価証券損益が改善したことや、経費削減に取組んできたことで、前期比9.12%増加の20億67百万円と4期連続で増加となりました。

当期純利益

19億円

当期純利益は、前期比3.87%増加の19億18百万円となりました。



自己資本の状況

自己資本比率

12.62%

自己資本額

454億円

自己資本額は前期比4.79%増加の454億円となりました。一方、リスク・アセット等は、貸出金残高の増加等により前期比6.33%増加したため、自己資本比率は前期比▲0.18ポイントの12.62%となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要な基準（4%）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況（金融再生法ベース）

不良債権比率

4.62%

不良債権額

185億円

事業再生先への支援に取組んできた結果、不良債権額は前期比1.78%減少の185億円となりました。不良債権比率は前期比▲0.27ポイントの4.62%となりました。

なお、不良債権には、担保や貸倒引当金等により適切に保全が図られており、備えは万全です。

